

### 13. 学術委員会報告

学術委員会から日本数学会季期研究所 (MSJ-SI = Mathematical Society of Japan, Seasonal Institute) について報告致します。

●2020 年度の第 13 回日本数学会季期研究所 (MSJ-SI) は、テーマを「微分幾何と可積分系 (Differential Geometry and Integrable Systems)」, 組織委員長を大仁田義裕氏 (大阪市立大学) として, 2022 年 3 月に大阪市立大学において開催される予定です。(新型コロナウイルス感染症の影響で開催時期が延期になりました。)

●2021 年度の第 14 回日本数学会季期研究所 (MSJ-SI) は、テーマを「New Aspects of Teichmüller Theory」, 組織委員長を大鹿健一氏 (学習院大学) として, 2022 年 7 月に東京大学において開催される予定です。(新型コロナウイルス感染症の影響で開催時期が延期になりました。)

●2020 年 5 月末日が締切であった 2022 年度 MSJ-SI の公募に対し, 2 件の応募がありました。審査の結果, 西村尚史氏 (横浜国立大学) を組織委員長とする「応用特異点論の深化と展開 (Deepening and Evolution of Applied Singularity Theory)」が採択されました。

#### ●2023 年度 MSJ-SI テーマ公募について

2023 年度 MSJ-SI についてテーマ公募を開始します。締め切りは 2021 年 5 月 31 日です。

MSJ-SI は, 以下の特徴を持ちます。

- ・数学会から 500 万円の助成金が提供されます。
- ・東アジアの数学会の協力のもとで, 韓国と台湾から限られた人数の大学院生・若手研究者が派遣されます。
- ・専門家向けの講演とともに, 大学院生・若手研究者向け, あるいは周辺分野の研究者向けにサーベイ形式の講演を行って頂きます。

応募される方は, 締切までに, 研究集会の

テーマ, 提案理由, 主要な講演者 (事前承諾不必要) を学術委員長までお送りください。また, 下記メールアドレスへの事前の問い合わせも歓迎いたします。

送付先: 日本数学会学術委員会委員長  
玉川 安騎男

電子メール:

tamagawa(at)kurims.kyoto-u.ac.jp

郵便: 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学数理解析研究所

詳細については, 本号に掲載の公募要領を参照して下さい。

(学術委員長 玉川安騎男 記)